

門田 淳 議員 … 6 件の一般質問



わが町としての在来線のあり方は

町長：並行在来線対策協議会の協議を踏まえ判断していく

門田 ①在来線のあり方について。

門田 ②今後の駅周辺整備の問題点。

門田 ③新幹線工事事業者への町としての積極的な対応を。

町長 ①並行在来線対策協議会の協議を踏まえて判断していきたい。

町長 ②高架構造への変更の決定及び並行在来線のあり方が決定されていない。

検討委員会の方向性と町内でまちづくりに取り組んでいる団体の町なか賑わいづくりとの整合が上げられる。

③新幹線の経済波及効果の1つである建設工事について、波及効果も大いに期待するところであり、建設事務所・宿舍の町内設置並びに資材、食料等の地元調達について特段の配慮の要望を行い、事業が円滑に推進されるよう可能な限りの支援を惜しまない。

門田 これから来る工事関係者に対しても、地元の農産品や物産品、食料品や飲食店マップを

PRする考えは。

町長 飲食店マップを含め、PRしていきたい。

門田 3Dの立体映像、今後のスケジュ

ルなどホームページでしっかりと公開していくべきでは。

町長 しっかりと取り組んでいきたい。



J R 俱知安駅

林業対策

門田 本町の町有林について、50年先、100年先を見据えて、どのように整備していくのか。

町長 町有林は1514haあり、そのうち成熟期を迎えた人工林の面積は354haで、カラマツが7割を占めている。人工林の約8割は保安林の指定を受けており、その大部分は水源涵養保安林として、洪水緩和、水資源の貯留、水質浄化などの公益性を有しており、伐採するにも制約がある。

町長 今後、多くの人工林が成熟期を迎えるが、森林の公益的な機能の維持・増進に努め、100年後の未来へ豊かな森林を維持するため、適正な保育・伐採・造林のサイクルを継続して森林整備を進めていきたい。

門田 平成25年俱知安町森林整備計画に基づき進めている事業の進捗状況は。

町長 本年度は町有林の人工造林10haと、下刈り24haを実施しており、今後も適正な保育等の森林整備を実施していくことが重要と考えている。

門田 京極町でも取り入れている林業認証SGECを取得し、町有林の管理運用をすべきでは。

町長 費用対効果を含め、今後検討していきたい。

学校給食センターの活用

門田 学校給食業務以外での活用の考えは。

町長 保育所内の給食は、設を設置することが作業や経費の面からも効率的であるとの判断に達した。

門田 民間業者に業務管理委託すると教育委員会が方向が示されたが、今後の課題は。

町長 民間業者に業務管理委託すると教育委員会が方向が示されたが、今後の課題は。

町長 平成29年4月の本格稼働に向けた諸準備を早急に、また確実に取り組んでいかなければならないと考えている。

門田 地産地消食育推進に考えているのか。

町長 ささまざまな食材の活用に向け、流通形態の確立や新たな食材の掘り起こしなどに取り組み、新たな献立メニューの作成についても充実を図っていきたい。

食育の推進については、今後も、給食を活用した栄養指導などに継続して取り組むとともに、さらなる食育の推進に向け取り組んでいきたいと考えている。

*その他に、ふるさと納税についてと、新年度行政改革と将来の行政運営についての考え、人事評価制度に関しての質問をしました。